

# 2年 外国語活動 学習指導案

## 「Food ワンダフル給食をつくろう」

渋谷区立神宮前小学校

学級 2年1組(34名)

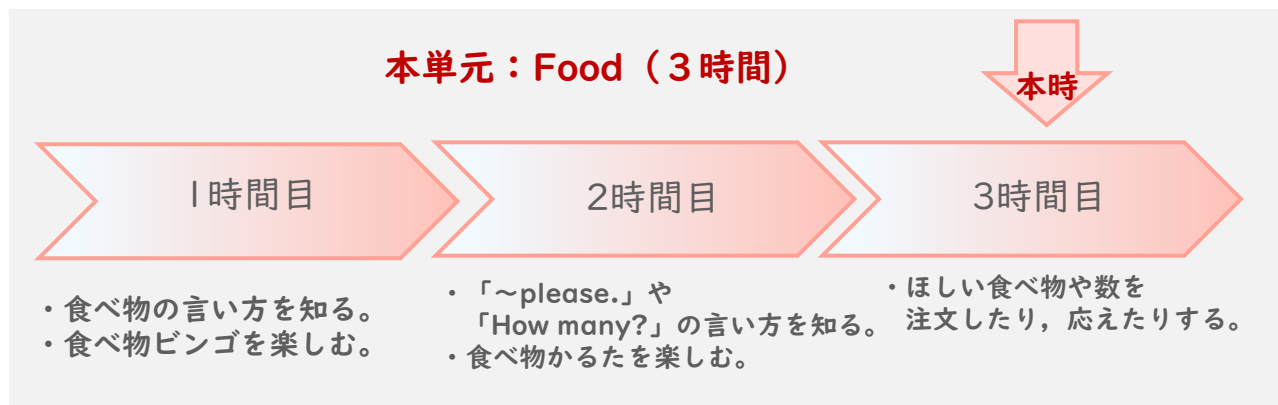
### 単元の目標(外国語活動)

- 食べ物について、英語を用いて友達とコミュニケーションをとる楽しさを味わう。
- 食べ物の英語表現に慣れ親しみ、自分の欲しい食べ物や数を注文したり応えたりする表現に慣れ親しむ。
- 日本語と英語での食べ物の言い方の違いに気付き、英語の表現に慣れ親しむ。

### 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食べ物の名前の英語の表現の仕方を 知り、発音したり、聞き取ったりしている。	日本語と英語の共通点や違いに興味 をもち、意識して英語で表現しようと している。	英語を使って、食べ物の名前や数を尋 ねたり、応えたりして、コミュニケーション を楽しもうとしている。

### 単元の指導計画(全3時間)



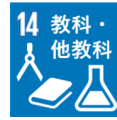
### 「自ら学びに向かう児童の育成」の実現を目指した学年の取り組み

「自ら学びに向かう児童の育成」というテーマのもと、低学年は、「様々な学習ツールを経験することで、相手に伝えたり聞いたりすることを通して、様々な考え方があることに気付き、自分なりに整理することができる子」を目指す児童像とした。低学年では、学習の習得・習熟度の向上を4つのステップ「知る・分かる・できる・教える」に分けて考えている。そして、この4つのステップの中の「できる」「教える」へ向かう段階を丁寧に扱うことが、児童の学習習得への喜びや達成感を生み出し、主体的な態度を育てることにつながると考えた。

本学級の児童は、英語を話したり聞いたりすることに対して、前向きで

はあるものの、必要感をもって英語を使う場面が少ないと感じる。そこで、学習した知識を活用し、友達やALTと1対1でコミュニケーションをとる場面を設定することで、一人一人が必要感を感じながら、意欲的に学習に向かうことができると考えた。本単元「Food」では、第1時で食べ物の名前、第2時で「～please.」「How many?」の表現を学習した。本単元で学習する食べ物の名前は、児童にとって身近なものが多いが、日本語との発音の違いを意識して、アクティビティやゲームに取り組めるようにする。また、かるたやビンゴ等の活動に取り組む中で、単語を習得したり、「～please.」や「How

many?」を使ってALTや友達と話したりしたいという意欲を引き出す。本時では、第1時、第2時で学習したことを活用し、友達とお買い物ごっこをする活動を設ける。やりとりには、オクリンクを使用し、友達とのコミュニケーションを円滑に行うことができるようにする。また、児童が何度も英語の発音を聞いて、語形を確かめることができるように動画を用いる。このような手立てをとり、一人一人が自信をもって、活動ができるように支援する。本単元を通して、児童が英語を使って友達とコミュニケーションをとることの喜びや達成感を味わい、次の学習活動への意欲へつながる学びとしていきたい。



### 本時 (3/3)

ねらい:

ワンダフル給食の材料を集める活動を通して、「How many?」「~please.」を使って、英語でのコミュニケーションを楽しむ。

	学習内容・学習活動	留意点/教材・教具
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ALTとあいさつをする</li> <li>○Small Talk</li> <li>○ALTが出すクイズに応える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PowerPoint (クイズの提示)</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Word &amp; Chants【HRT・ALT】</li> <li>・ミッシングゲーム (間違いさがしゲーム)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p><b>お買い物ミッションにちょうせんし、ワンダフルきゅう食をつくろう!</b></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○タブレットでミッション動画を見て、ワンダフル給食をつくる材料を集める。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">ミッションの内容 (動画)</p> <p>ワンダフル給食のメニュー (メイン・サブ・デザート) を英語で紹介し、材料を集めてくるよう指示</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A:Hi. B:Hi. A:Potato (食べ物), please. B:Ok! Let's "じゃんけん" A:(勝ったら) Here you are. B:Thank you.Bye. A:Bye.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時までに出てきた単語を、ゲームで確認し、main activityで一人一人が発音できるようにする。</li> <li>○タブレットを活用することで、繰り返し動画を見て、どのような食べ物を集めればよいかを確認できるようにする。</li> <li>○どの食材のことを言われているのかわからない児童は、ALTに聞いても、動画を見ても、どちらでもよいことを伝える。</li> </ul> <div style="border: 2px solid pink; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ミッション:動画(オクリンク) 材料カード:オクリンク</p> </div>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Review</li> <li>・完成したワンダフル給食を友達に紹介する。</li> <li>・振り返りをする</li> <li>○ALTとあいさつをする</li> </ul>	

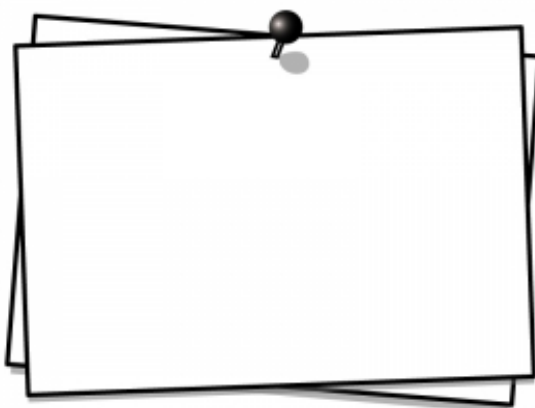
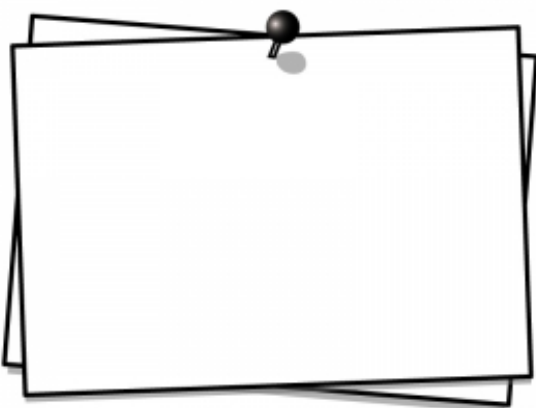
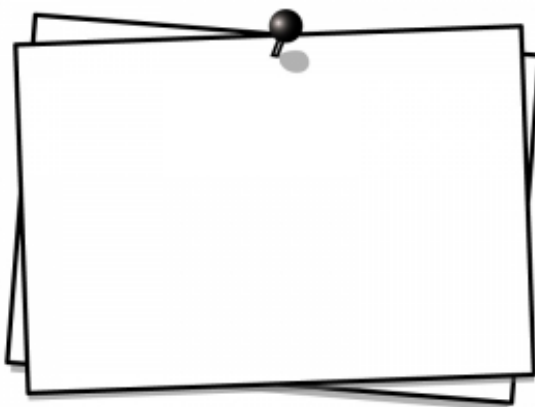
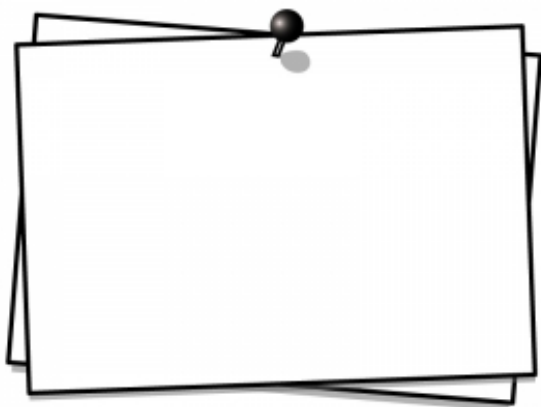
令和5年1月25日

# フィードバックシート

学校名

記入者名

授業者へのメッセージ/フィードバック



自分の授業に活かしたいこと/この授業をもとにした展望

## 単元を貫く授業デザイン/学習環境デザイン

### 「知る」:身近な生活とつながる

児童が「英語を使いたい。」と思う場面を設定し、児童の興味・関心を引き出していくことが大切だと考えた。「渋谷ワンダフル給食」は、学級の児童が毎月楽しみにしている給食のメニューである。本単元では、その「渋谷ワンダフル給食」の材料集めの活動を取り入れることで、児童が必要感をもって英語を使うことができるようにした。

### 「わかる」:1対1 グループの活動を通して

一斉指導の中で、周りの友達と一緒に発音しているだけでは、自分の発音とALTの発音との違いや友達の発音のよさに気付きにくい。本時では、「お店屋さん」と「お客さん」に分け、児童が1対1でやりとりする場面をmain activityとした。児童が1人で英語を使ってみることで、「この発音だと相手に伝わりづらい。」と気付いたり「こうしたら伝わる。」と感じたりすることで児童一人一人の成長を促す。

### 「教える・説明する」:発表の場づくり

友達とのやりとりを通して、「英語でコミュニケーションをとることができた。」と実感できる場面を設定する。本時では、自分の欲しい食べ物の名前と数が、英語で友達に伝わったときに、紙の材料カードを受け取ることができる。その活動を繰り返していくことで、児童が達成感を味わえるようにし、日常生活の他の場面でも英語を使いたいという意欲につながっていく。

### 動画の活用

1対1のやりとりを助けるのが、タブレット端末での動画の活用である。お買い物ミッションの語形をタブレットで配信することで、児童が何度も英語の発音を聞いて、言い方を確かめたり、自分の発音が正しいかを確認したりできるようにした。英語を使ってコミュニケーションをとることに抵抗のある児童も、自信をもって活動できるように支援する。

児童の意欲につながる出会い

思考を深める

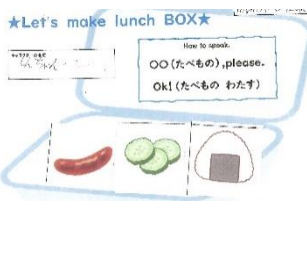
充実感につながる表現の場

学びを補助する ICT活用

### 主な語彙

Main Menu	pork	chicken	rice	bread
Side Menu	potato	corn	carrot	bean
	cucumber	tomato	cabbage	celery
Dessert	melon	apple	orange	strawberry
Drink	apple juice	coffee with milk		

### 活用したツール



「オリジナルランチボックスをつくらう」(前時)  
 ・動画(オクリンク)  
 ・材料カード(紙)



「ワンダフル給食をつくらう」(本時)  
 ・動画(オクリンク)  
 ・材料カード(オクリンク)

### 授業観察の視点

本時に向けて参考にした文献

文部科学省(2018)「小学校学習指導要領解説外国語活動・外国語科編」